

1997

「新春京都特別鼎談「改めての近代化」が必要な日本、公正なシステムをどうつくるか 再び"丸山真男"を面白がる」(小池百合子・佐和隆光との座談会)、『週刊ダイヤモンド』1997年1月4日号

「共同討議：責任と主体をめぐって」(高橋哲哉・西谷修・柄谷行人との座談会)、『批評空間』II-13、1997.4. 柄谷行人編『シンポジウムIII』太田出版、1998

「討議：実存に責任を負う」(Jean-Luc Nancyとの対談、安原伸一郎訳)、『批評空間』II-13、1997.4. 柄谷行人編『シンポジウムIII』太田出版、1998

「編集後記」、『批評空間』II-13、1997.4.

「最後のミュージアム：ダニエル・リベスキンド [ユダヤ博物館]」(写真：宮本隆司)、『InterCommunication』no.20、1997年春号「特集=20世紀のスペクタクル空間：博覧会/オリンピック/ミュージアム/メディア」

「MITO 機械仕掛けのピアノのための嬉遊曲：坂本龍一&岩井俊雄の実験」、『InterCommunication』no.20、1997年春号「特集=20世紀のスペクタクル空間：博覧会/オリンピック/ミュージアム/メディア」

「Erewhonのひそみに倣う 海市：もうひとつのユートピア」(磯崎新との対談、1997.3.31.磯崎アトリエにて)、『InterCommunication』no.21、1997年夏号「特集=情報社会の未来形/対話篇」

「レズビアン/ゲイ・スタディーズの現在」(Clair Marie・鄭暎恵・河口和也との座談会)、『現代思想』1997年5月臨時増刊号「総特集=レズビアン/ゲイ・スタディーズ」

「編集後記」、『批評空間』II-14、1997.7.

第84回文學界新人賞選評「計算された素直さ」、『文學界』1997年6月号

「セクシュアリティとアクティビズム」(河口和也、キース・ヴィンセントとのシンポジウム、1997.6.1.池袋コミュニティ・カレッジにて)、風間孝、河口和也、キース・ヴィンセント編『実践するセクシュアリティ：同性愛/異性愛の政治学』動くゲイとレズビアンの会、1998.8

「イメージの政治：ゴダールのアドルノ賞受賞公演に対する応答」(阿部和重との対談)、『映画芸術』no.383、1997年夏号

「再びドゥルーズをめぐって」(宇野邦一との対談、1997.6.25)、『批評空間』II-15、1997.10.

「共同討議 生の哲学と死の欲動」(木村敏・新宮一成・柄谷行人との座談会、1997.7.13)、『批評空間』II-15、1997.10.

Ilya Prigogine「時間と創造：イリヤ・プリゴジンに聞く」(聞き手：浅田彰、1997.7.18.)、『InterCommunication』no.23、1997年冬号「特集=反重力へ：ものからの距離」

「編集後記」、『批評空間』II-15、1997.10.

「《ザ・ケイヴ》への序：ビデオ・ドキュメンタリーを通じてのオペラの再生」、浅田彰監修『STEVE REICH BERYL KOROT THE CAVE』NTT出版、1997.9、pp.10-11

Steve Reich「音楽・技術・歴史 スティーヴ・ライヒに聞く」(聞き手：浅田彰)、浅田彰監修『STEVE REICH BERYL KOROT THE CAVE』NTT出版、1997.9、pp.68-91

「ヴァーチャル・ハウスをめぐって」、『InterCommunication』no.22、1997年秋号「特集=科学にとって美とはなにか」

「共同討議 伝統・国家・資本主義：保守主義の理路を問う」(西部邁・福田和也・柄谷行人との座談会、1997.10.9.)、『批評空間』II-16、1998.1.

第85回文學界新人賞選評「『カミング・センチュリー』に向けて?」、『文學界』1997年12月号

「『ザ・ケイヴ』をめぐって」(近藤譲・高橋悠治・藤枝晃雄の座談会での司会役)、『InterCommunication』no.23、1997年冬号「特集=反重力へ：ものからの距離」

「[ダムタイプ『OR』] 臨界のパフォーマンス」、『InterCommunication』no.23、1997年冬号「特集=反重力へ：ものからの距離」

「ストロ - プ = ユイレを導入する」(1997.11.21.神戸ファッション美術館のストロ - プ = ユイレ映画祭での講演)、『批評空間』II-17、1998.4. 『映画の世紀末』新潮社、2000